

第4回 リレー講座 R5.0805 (土)

2023年 第4回リレー講座を以下の通り実施しました。多数のご参加ありがとうございました。参加者の皆様の様子をご覧ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

日 程 8月5日(土) 13:30~15:00

場 所 C105

担当者 群馬大学共同教育学部附属教育実践センター 准教授 林 和弘

講義内容 はばたく群馬の指導プランIIに基づく授業づくりー理科を中心としてー

○群馬県「学校教育の指針」

①はばたく群馬の指導プランII

②ICT活用の促進

③指導と評価の一体化の充実

実際の授業より①小4理科「雨水の行方と地面の様子」

実際の授業より②小6算数「算数の授業で大切なこと」

実際の授業より③小5算数「合同」

実際の授業より④小4道徳「どうして自分で時間の使い方を決めるのだろう」

実際の授業より⑤小5英語「学校生活の楽しさをくわしく伝えられるようになろう」

実際の授業より⑥中2理科「生物の体のつくりと働き」



参加者の声より一部抜粋

- ・ はばたく群馬の指導プランIIの要点をつかむことができました。現在の授業で大切にすることや求められていることを知ることができてとてもうれしかったです。自身の教科についても、改めて読み返したいと思いました。また、実際の授業実践を紹介していただいたので、具体的なイメージが湧きやすかったです。
- ・ 「はばプラII」がいつでも自分の授業の根幹になっています。忙しいと見落としがちな普段の授業の中身も、研修を通してフィードバック、ブラッシュアップできました。本日はありがとうございました。
- ・ 工夫された授業実践例を解説付きで聞くことができ、とても勉強になり、自分の指導にも取り入れていきたいと思った。
- ・ 児童生徒が「何を」学んだかだけでなく、「どのように」学んだかを重視しつつ授業づくりに力を入れたいと感じた。また、各先生方が大事にしていることも参考にしつつ、取り入れるべきところを取り入れていきたいと思う。
- ・ 指導と評価の一体化の充実を図った指導案形式は初めて見たのですが、今後はそのような書き方によっていくことになると思うので、指導案を作成するときの参考にしていきたいです。
- ・ 自分が理科の専門家ではないので、本当に参加してよいのだろうかという思いで参加しました。しかしながら、理科中心であるものの、他教科にもつながる事項が多く、自身の実践につながるようなことがありました。「子供の学びをデザインする」ということを大事にしたいと思います。
- ・ 理科の授業にワクワクしながら参加している児童生徒の表情がとても印象的でした。児童生徒も教師も、楽しみながら探究する、それが主体的に学習に取り組む原動力になると改めて感じました。「早く夏休みが明けて、理科授業がしたい!」という思いになりました。本日はありがとうございました。